

恋瀬川について 名前（ ）

恋瀬川は、笠間市と石岡市（旧八郷町）の境に位置する吾国山（518.2m）を源流として、石岡市（旧八郷町）、かすみがうら市（旧千代田町）の筑波山ろくの水田田地帯を流れていき、石岡市高浜で霞ヶ浦に注いでいる。多くの支流を持ち、筑波山の東側の多くの川や沢は、最後に恋瀬川に流れこむ。天の川、雪入川、川又川、山王川などの支流がある。● 長さ 27.85km ● 流域面積 212.6km²

雪入山（ゆきいりやま）について

雪入山（ゆきいりやま）は、茨城県かすみがうら市と石岡市の境に位置する高さ 390.7m の山である。西から雪入山、青木葉山、浅間山、閑居山、権現山の順に連なる筑波連山の山の一つである。西に朝日峠、東に青木葉峠がある。近年、採石場あとに建設された雪入ふれあいの里公園を起点として登山道が数ルートつくられて、標識なども各所に設置されている。



採石場だったころ

雪入川源流



上流 雪入川

観察のポイント

- ・ ごつごつとした大きな石があり、急なところを流れている。水量は少ない。



中流 天の川 かすみがうら市新治橋

中流の観察のポイント（自然な川の様子分かる）

- ・ 川の流れはゆるやかで、川の周辺には植物がたくさんあり、自然にあふれている。
- ・ 岸边には川の水が増水したときにけずられたあとがある。（けずるはたらき）
- ・ 川底には丸い小さな石が多く見られる。
- ・ 川の周辺には、ヨシやヤナギなど多様な植物がある。



下流 恋瀬川 石岡市愛郷橋

下流の観察ポイント

- ・ 自然が残っている。植物や魚のすみかがある。
- ・ 中洲がありどろや砂が積もっているのがわかる。（運ぶはたらき）（積もらせるはたらき）
- ・ 流れがゆるやかである。

